京城新報

●新聞代　▲一ヶ月前金二十錢　▲三ヶ月前金五十五錢　▲六ヶ月前金壹圓　▲郵税一ヶ月金拾錢
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢　▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆　四月二日
發行兼編輯人　秋山忠三郎
發行所　京城西署西小門通　京城新報社　電話六六三番

韓國に働きたる人物　其十六

故奥村五百子女史（下）

▲奥村刀自は斯く韓婦人教育に熱血を注いだが、更に其甲斐もなく其の徒勞であつた、刀自も翻然として悔悟した韓婦人は到底教ゆ可らざるものと斷然した、が意地強き刀自は世間に對する體面上尙種々苦心して續行した、けれども豕は如何に好餌を以て牧しても羊にはならぬ、如何に傲情我慢の刀自も終に斷念放棄した、

▲時は誰れ三十二年木浦開港一週年祝典の際、刀自も光州より出て來て、吾輩の處に尋ねて來たことがある、其際吾輩は刀自に向て、韓婦人教育の不可能にして困難なることを察すると云ふたら、刀自大笑して韓人は人間でない、人間なら佛の慈悲で濟度の出來ないことはない筈だ、然るに渠等には佛陀の光も、如來の功德も皆無解らんとのことであると、歎息した、

▲前に書くことを忘れたが、刀自は大谷派本願寺よりも、保護を受けて來たのである刀自と本願寺の關係は能く聞かなかつたが兎に角淺からぬ關係を持て居つた、木浦の本願寺別院には奥村圓心と云へる僧が居つた、圓心師は刀自の血族である、

▲故に光州に於ける敎育事業も本願寺の名の許になされたのである、刀自が吾輩に向て彌陀の光も、如來の功德も韓人には解らぬ、到底濟度す可らずと云ふたのも、本願寺との關係によりて讀者はハヽアと肯れるだあらう、

▲吾輩は刀自に向て、吾輩の持論たる韓人は理屈は云ふが、實行の出來ない種族である、激しき生存競爭には迚も堪へぬ種族で漸次優勝劣敗の甚なるに至れば、其劣敗者たる運命は免れぬ、從て人口減少し數世紀の後には或は滅却するやも知れぬとの事を言ふたら、刀自は頻に之に贊成して拍手して快を叫んだことがある、

▲亦吾輩は韓國は早晩我邦に併すべきもので、眞の獨立は困難である、亦獨立は極東の平和を攪亂する導火線となる、決して長く此儘にして置く可らずと言たれば、刀自は此說にも贊成して實驗上其然るを知ると云ふて亦も快哉を叫んだ、

▲之に依りて見るも、刀自の對韓策が如何に當時に於いて進步して居たかゞ分明である刀自の議論は總て激越にして、大言壯語を快として喜ぶ風があつた、若し刀自をして男たらしめ、之に理性を與へたならば如何なる難事業でも出來る人であつたらう、

▲刀自は妙齢の頃より國家の爲に働いて、少しの女らしい所も無かつたが矢張り女性には違いない、若い頃京都に出て或る公卿の家に寄寓せるとき、其處に居つた公卿侍に懸したことがある、戀男を遙る／＼郷里の佐賀に連れ戻り階老同穴の契を堅めたが不幸にして其良人は夭死したのである、刀自晩年の勇氣は之が爲に却て激成されたのである、

梅博士の談話（下）

（清韓兩國の法制事業）

△刑法の內容　刑法は大體に於て我國の改正刑法と同じきものなるが是には我が刑法に見ざる笞刑を存し置く考なり現今の韓國監獄は殆んど否な全然豚小屋と同一にして全く邦人の想像に及ばざる狀態なれば苟も文明風の法制を行ふ以上は全然改良を加へ設備を施さざるべからず然るに彼の國民發達の程度にては輕き犯罪の日常多數あるに之を一々監獄に收容する如きに至らば其の設備に要する費用多くして到底經濟の許す所にあらず又一方より見れば完全なる設備ある監獄に入るは貧民に取りては却て喜ぶ所となり却て犯罪の數を多からしめ刑罰の目的を達する能はざるに至る恐れあれば余は當分笞刑の存續を認むるものなり

▲民法及び商法　に就ては既成の成文なく且つ一定の慣習法もなきことゝて各地に存する慣習の調査には餘程困難を感ずることとて是れは目下その調査中にあり法典は民法商法と合せて一篇とする考なり其の名稱の如きは未定なり

△憲法は如何　學者の所謂憲法は同國今日の政治狀態にては全く不用なり、皇室典範は伊藤統監より其起草の依囑を受け居れば其中に閑を得て着手する筈なり要するに目下編纂中の法典は風俗人情に反せざる限りは日本法を參考とする積りなり

△清國の司法狀態　次に清國の司法狀態は今日までは中央政府の立法せし法律を地方の按察使に於て執行することゝなり居れども果して嚴正に執行され居るや疑なき能はず兎に角各省人情風俗を異にせる老大帝國の司法權統一は極めて難事ならん清國の刑法に就て岡田博士は其進步を說き日本は勿論歐米諸國の刑法も及ばざる點ありと云へり岡田博士は之を參酌せし事なれば或は在來諸國の刑法中最も進步せしもの出來るならん民法の編纂は廣大なる領土にて各地方によりて慣行異なるべく重に其慣行を斟酌せざるべからざるを以て其調査のみにても之を完全に爲さんとすれば十年の日月を要するならん左れば同國民法々典の編纂は實に至難の大事業なり憲法は淸國にては自國人に於て起草する考の如し同國も世界の趨勢に鑑み且つは人民の希望を容れて機を見るに敏なる袁世凱氏等の主張により幾多の障害ありしにも拘はらず兎も角も立憲制の採用に決定せる如し其の內容に至りては同國の事情全く我國と異なる所あれば如何なる規定を設くるか豫知するに難し今尙ほ革命黨の出沒することなれば殊に議院法の如きは最も緻密なる注意を要すべしと云々

●勇敢なる若松軍曹

蓼洞憲兵分遣所長若松軍曹が砂利院の東南方約五里土坡坊倉村附近の韓人家屋に於て賊魁と一騎打をなし遂に之を殪せし事は既報の如くなるが今其詳細を知るを得たれば玆に之を報道することゝせん

明石少將を護衛しつゝ砂利院に屯しありし若松に對し廿一日明石少將は歸營すべく袂別する際戯れに留守中何たりとも珍らしき話柄を殘されよと言たるを若松軍曹は深くも肝に銘し閣下にまでの語草もやと任務を勵む傍常に心掛け居たる處廿三日に至り砂利院を距る東南方約五里土坡坊倉村に約百名の賊徒出現したりとの情報に接したるにぞ何條猶豫なる可き部下五名通譯官一名何れも軍服の上に白ツルメーキを纏ひ軍帽の上には朝鮮傘を戴きたる異裝の一隊を引卒して前夜來篠を束ね降る雨を冐して同日午後は松陵に宿り翌二十四日前日にも增して降りしきる雨を事ともせず乘ずべきは却て雨天にありと志氣を鼓舞して同日午後三時頃倉村に進み入れば賊徒は昨夜一泊したれど早今朝出發したる後なりしかば直に倉村を出で行くこと約半里にして一村落に達し士民の言に徵すれば十八日午前十一頭賊徒の通過を見たりとの事に力を得更に隣村に進み又士民の言を徵せむとしたるも只知らぬ存ぜぬの一點張り松岡通譯の苦心も遂に效を奏せず敵情を知るの途玆に全く杜絕したれど强情我慢の若松軍曹は落膽せる衆を鞭韃し尙も行く事少時漲きり流る河あり堤上に立てば對岸近く向ひ來る約三十の賊徒に出會したるにぞ俄に勇氣を增し吐嗟土橋を渡り猛烈なる攻擊を開始したるに賊は後方小山に散開し火繩銃を以て反抗したれど如何でか精銳なる討伐隊に敵すべき我銃丸に中りて殪るゝもの泥土に足を奪はれて倒るゝもの相踵て生じ遂に死屍三を殘して一部は山を超へて左翼に一部は同じく右翼に逃走を企てたり若松軍曹は山を廻て追擊の命を下し一定の間隔を保て追及すること頗る急なりし若松軍曹は首魁こそ目す可き黑衿を穿ちたる賊を目的に追ふこと二千米突にして約二百米突に接近し銃丸を發射したれども中らず賊は一目散に駈け出し左方の村落に入て姿を見失ふに至れり然れども泥土に印したる足跡を搜しつゝ進みしに某韓人の宅に至りてハタと止みたれば畢竟此家に潛み居るものならんと推し門を入て搜索したる結果右側の牛小屋に積み重ねたる柴の音立てゝ動くにぞ近寄りさま一發ヅドンと喰はしたるに果せるかな賊はヌックと起き上り大膽にも鬼の如き左手を以て銃口を握り右手に有合せの棍棒を擧げて打下し銃を奪はんとて挑み合ふ中若松軍曹は賊の引張る力に乘じて銃を投げ出したるに案の條賊は泥土の上に倒れたれば得たり賢しと組付きたれど彼れは六尺もあらんかと思ふ大男此方は前日來の雨中行軍に神疲れ動もすれば組み敷かれん形勢なり死者狂ひの賊は軍曹の右耳に咬み付き更に總身の力を起して口を裂かんとせしかば何猪口才なと齒を喰ひ縛り指先を咬みたるに一旦辟易したれど蠻力に富む彼れは軍曹を下に組み敷き蹈を以て銃を折寄せん[illegible]ごを見て取りたる軍曹は夫れ渡しては一大事、[illegible]む手先を賊に咬み付かれ中指に負傷したれど少しも怯まず鼻に咬み付きたるに之に驚く隙を見計らひ賊を膝下に組み敷き泥土を掬ひ取て眼潰し飽まで獰猛なる賊魁は其石を奪ひ取り左頰を喰はし倦む所を石にて頭部を割りたれどを反擊したるため軍曹の左奧齒二枚右奧齒二枚前齒一枚脫落するに至れり然れども軍曹は一難に遇ふ毎に勇氣百倍し賊を引摺て門際に押付け閒を見て銃を拾ひ取りドンと一發左肺に喰はしたれど彼は衰ひたる氣色もなく向はも向ひ來らんとするまゝ更に右肺に一發喰はしたるに追が狀狼の如き賊魁も少しく跳ね上りたるのみ其儘息絕へたり軍曹は九死に一生を得たる心地にて泥土と血とに塗はれたる全身の疲勞を醫す可く雨水を掬し胸の動悸を安んじ居る處に賊徒擊に向ひたる部下の憲兵歸り來り目出度凱歌を奏して引揚げたりとは近來稀に聞く快心の勇士なるかな

新刊紹介

●東京經濟雜誌　母國刻下に於ける經濟界の情况歷々として掌を指すが如し社說には金融の景況トラストの利弊、大阪銀行會の希望等に就き有益にし興味ある論文を揭げ其の他講演、文藝、資料、雜錄等の諸欄一として再讀に値ひせざるものなし（第千四百三十六號東京々橋區彌左衛門町東京經濟雜誌發行）

●貿易　海外貿易に關する論評記事統計等確かに參考の資に供すべし中に「覆面を脫せる淸國」の一篇は遺憾なく淸國現下の事情を究め極東の門題に目を注ぐものをして再讀三唱せしむるものあり其の他亞剌斯加事情貿易業者の能力等の諸篇は又一應眼を通すべき價値あり（第九卷四號東京々橋區宗十郎町日本貿易協會發行）

●統監府通信事業第二回報告書　三十九年度下半季間に於ける統監府通信事業施設經營に關する要項を記述したるもの曁として昨半ケ年間に於ける韓國通信事業の狀況を知るを得べし（統監府通信管理局發行）

讀者文壇　投書歡迎

日本外交の拙劣　△▲生

日本外交の拙劣なるは事新らしく謂ふ迄も無き處なるが某韓人は語りて曰く由來日本人は排日派とか親日派とか稱ねて騷ぎ廻れど韓人は素より利の一方面を見るのみにて韓人自身の爲めには毫も何等の感じもあらず唯日本當局者の手加減にて如何とも變すべし故に曩に親日派と稱ねたる者今日は排日の首魁となり今日排日の首魁たるもの又親日派の首魁と變じて大官榮職に蟻付くに至るべし是等は韓人夫れ自身の爲す處にあらずして日本當局者の然らしむる處に外ならず何となれば彼の玄暎運を見ずや又具完喜を見ずや彼等は曩きに日本人の爲めに籠絡されて日本政府に忠勤を擢んでたることは決して尋常一樣の事にあらず去れば彼等も一時顯職に誇りて大道を濶步し居りたるが其の後日人は彼等を捨てゝ顧みず却て之を疎ずるに至りたり這は一例に過ぎざれど日人の常套手段此の外に出でざるを以て韓人中腹心を傾けて日本政府の爲めに永久盡くさんと欲するもの夫れ幾人かある現內閣員と雖も今後能兔さるゝに至らば伊藤統監の德を謳歌するもの一人もなかるべし日人は斯くの如く人心を收攬して永久に其の德を慕はしむるの方法を解せず故に今日韓國人の多くは唯大勢に支配されて表面伊藤統監に盲從し居れりと雖も一朝何かの變に乘ずるを得ば蓋し黃河の氾濫するが如き勢を以て悉く他に走らん是れ日人の心すべき事たるなり云々と韓人今や斯かる言を公然吐きて憚らざるに至れり統監政治の擧がらざる又所以あるかな

小說　新不如歸（八）

篠原嶺葉著

「サア固く神に誓つたからは、安心して話して下さい」

と、クロパトキンは漁人体の男に迫つた。

「宜しい、それでは打明けて話致さう。」

と、犯す可からざる威嚴を備へた滑らかな眼で四邊を見廻し安心した如き態度で、

「私は陸軍步兵大尉西脇義祐と云ふもので第一師團の副官を勤めて居るものだ、だから、貴方が賴みたいと云はれる品も、大抵な物は容易く手に入れる事ができるです。」

クロパトキンは、尋常の漁人でない事は豫じめ察して居つたが、豈夫陸軍の將校であらうとは思はなかつた、しかるに陸軍大尉でしかも副官といふを聞いて、急に敬意を起すと共に非常なる味方を得たを喜んだ。

「然うでありますか、貴方は陸軍の大尉、へい、そして副官、なる程然うでせう、それでなければ斯いふ圖が通常人の手に入る理が無いと思つた、宜しい斯官職を打明して下さつた上は、何も彼も安心して賴みます。私が賴みたいと云ふは外な品ぢやありません。」

と、有繁に四方をグルッと見廻はした、西脇も共に見廻しながら、一二步傍に進み寄つた。

クロパトキンは聲を潛めて。

「東京灣に對する海陸の守備が詳しく知りたいが、何か知れる品が手に入る工夫は無いでせうか、賴みと云ふは此事です、實は種々に手を廻して奔走させたですがどうも旨く手に入らなかつたです。」

云つて西脇の樣子如何にと其顏を伺うのであつた。

西脇は聞く思案する樣子であつたが、やがて決心した調子で、

「宜しい、確に詳しい品を手に入れて渡しませう、其代り約束した二つの條件は宜しいでせうね。」

「それは云はれるまでもない、神に誓つて果します。」

「では斯う爲ませう、今日より一週日の后橫濱で密會して渡しする事に」

「宜しい、其時報酬の一萬五千留は引替に渡します……先づ此の圖に對する一萬留だけ只今渡して置きます。」

と、衣兜の中を探つて露西亞革の財囊を取出し、橫濱なる露淸銀行より受取るべき一萬留の有價券を渡した。

西脇は有價券を懷中深く藏め、再會を固く約して後、足早く舊の釣場に去つて、釣道具を肩に、浪五郞の宅の方にスタ／＼と運るのであつた。

先程より、兩個が秘密を語らひ居る岩蔭に身を潛めて居た一人の陸軍將校があつて、頻りに耳を傾けて聞いて居つたが今や西脇が立去る姿を遙に見送つて、一癖あるべき顏にニコリと氣味惡さうな笑ひを洩した。此の將校は何者でかゝる濱邊に何を爲に來たであらう。

西脇は程なく彼の漁人浪五郞の宅に歸つたと、見るより浪五郞は、

「どうでございました、宜い獲物がございましたか。」

「うむ、思ふ通りの獲物があつた。」

云ひつゝ身に纏ふた襤褸衣を脫げば、浪五郞は西脇の衣類を取出して着換させた。

かくて西脇は若干の金貨を浪五郞に與へて

「どうも種々と厄介を掛けて濟まんかつたこれは御禮の驗だ取つて置いて下れ、そして私が此處に來た事は必らず他人に告げて下れるな、呉々も賴むよ。」

「旦那樣、何のこれしきには御禮などが要りませう、それよりか若も露西亞と戰爭でも始まりましたら、どうぞ少將閣下の妄執が晴れまするやうに、お力盡しを願ひ申します、又此處へお出でになつた事は、此口が腐つても申しませんよつて御安心なさりませ。」

「それを聞いて安心した、乾度亡父の無念は晴らして見せる、安心して待つて居て下れ。」かくて西脇は其夜歸京の途に就いた。

京城新報

再び伊藤統監に與ふ

伊藤統監閣下、閣下の歸任せらるゝや、傳說して曰く、閣下は三大條件を齎らし來れり、之を以て統監政治の面目を一新し、閣下掉尾の大飛躍を試みらると、余輩は之を聞て、世人が餘りに大早計にして、閣下を買被れることを憫笑せり、然れども余輩と雖も閣下今次の歸任には多少の成案あるべしと思へり、少くとも閣下の殆ど責任とも云ふべき暴徒鎭定策位は案出し來れりと信じたりき、之れ閣下の責任としてあるべき筈なればなり。

然るに頃日傳說あり曰く、閣下に昵近し且つ信用せらるゝ屬僚の一人が閣下の政策を眞面目に說明せりと、其語る處は、閣下今次の歸任には何等の成案なし、從來の政策を續行するのみ、現時の暴徒の如きは韓國の平時にあるべきものと見做せり、政治の效果は一朝一夕に收むべきものにあらず。多少の歲月を要す、現今の統監政治を續行すれば、韓國民は無論暴徒も眞意を了解し終に悅服するに至るべし、現內閣の如きも別に更迭改造するの要を見ず、[illegible]て實蹟を擧げしめば可なりと。

統監閣下、以上の傳說は實際閣下の眞意なりや否や、余輩は閣下が如何に老耄したりとて、斯る亂暴なる言を放つべしとは信ぜざるなり、若し夫れ此說が異なりとせば全く無政策なり、到底曠職の譏は免る能はざるなり、現今に於ては暴徒鎭壓は韓國統治の一大要務なり、暴徒の爲に幾多の地方在留帝國民は逆殺せられたり、幾多の財產は押掠せられたり、啻に帝國民のみならず、韓國の良民も塗炭に苦み、怨嗟の叫聲は地方の天地を震撼せるにあらずや、人道を重ぜらるゝ閣下にして之を傍觀して顧ざるが如き謂はれなし。

地方の狀態現今の如く混亂して、鎭靜することなくんば何時帝國民の地方移住は行はるべきや、更に際限を認むる能はず、さらば如何にして帝國民の發展を策すべきや、所說の如く此儘に放任して、統監政治に悅服するを待たんか、十年廿年の歲月を待つも到底其時は來らじ、否之を放任せば暴徒は更に猖獗を極め終には平和攪亂の導火となるやも知るべからず。

閣下果して傳說の如く統監政治に悅服するの時を永遠に待つの眞意なりや、余輩は風說として聞流さむと欲すれども、近來閣下の行動が往々見易き見解を誤る傾きあるを以て安んずる能はず、爲に閣下の眞意を問はんと欲するなり。

閣下請ふ虛心平氣に暴徒出現の始より、現今に至る迄の狀況を考へられよ、さらば一擧に討伐すべき理由を見出し得べし、現今の如く小部隊の兵を各所に配置せるは策の得たるものにあらず、其兵の調練を欠き風紀を亂す等軍隊側無形の損害は計るべからざるものあらむ、一擧討伐は總てに於て利益なり、殊に統監政治の發展に資すること甚大なり、閣下は未だ此良策を敢行するの斷なき乎。閣下東上の時日も亦遠からずと聞く、掉尾の政策として此良策を敢行し、韓國統治の實蹟を擧げ以て閣下の末路を華飾せられなば公私の幸ならずや。

●對星樓茶話

●李總理邸より吾人を轉訪せる韓人曰く李總理の暴徒鎭壓に苦慮せる一方ならず殆んど寢食を忘れて憂色面に在りと、余曰く李總理鎭壓の策を知らざるに非ず、彼は尤も善く其妙計を知れる智者なり、而かも之を知らずと謂ふは內閣保存の爲めに其妙計を忘れたりと謂ふのみ、韓人首肯して去る。

●吾人に向つて統監政治を非難するは可なり鎭壓の計なきを冷笑するは可なり、全韓民の全排日徒なるを說く可なり、韓人得々として我帝國政策の揚がらざるを說き且つ冷笑の心波其顔貌を橫ぎる、余曰く足下等は日本帝國が暴徒鎭壓の實力威嚴無しと思ふ乎、足下の尤も歡迎すべきは今の統監公也、今の統監政治なるべし。

●行先きを忘却して道行の平和、修飾、光榮、快樂を主とせるものなり。

●新聞紙條例は言論發展の第一證明者なり與論發展の證明者なり。

●近時韓人間の學校創設の勃興せる、出刊物の多忙なる、言論の節平に發達せる、書籍屋の繁榮せる、皆是排日を主として起れる狀態なり、統監府が日韓同化を說法せる間に排日徒は自然に背走しつゝあり、逆襲しつゝあり、蜂起しつゝあり、只だ是れ由々しき形勢なりと長嘆するのみ。

●記者團政談演說會の評判を賞讚せる韓人への談話を遮るもの曰く足下等記者團の演說會まで排日論の口實と爲す乎、余曰く韓人は天然に外交に修鍊せる國民なり、彼等の口舌は干戈よりも銳利也。

●白耳義は平和に食傷し、モロッコは保護に食傷し、土耳古シャムは文明に食傷し、伊太利は强大に食傷し、西班牙は侵略に食傷したり、知らず韓國は外交術に食傷せる乎。

●スチーブンス氏を暗殺したる韓人を愛國者なりと絕叫せる韓人は、宜しく退去令によりてカルフォルニヤに放逐せしむべし、警視總監は宜しく之を取締るの義務及權利ある人也。

東京電報

▲松島艦死亡者

沈沒せし松島艦の死亡者は艦長八代大佐以下將校五十七名にして水兵の死亡者は未詳

▲松島艦生存者

松島艦沈沒の際橋立嚴島兩艦にて收容したるは砲術長機關大尉、中軍醫各一名候補生二十四名准士官七名にして艦長副官及び士官以下多數は行衛不明なり(以上三十日發)

▲松島艦員の死生者

松島艦の乘組員は艦長以下將校十六名少尉候補生五十七名下士卒三百四十一名にして生存者は將校準士官九名候補生二十四名下士卒百四十一名なり

▲博義王殿下御危篤

伏見宮博義王殿下には昨夜來危篤に陷らせらる

▲海底電信買收問題

本日リスボンに於て開會せらるゝ萬國電信會議には日本より對馬釜山間の海底電信買收問題を提出する筈なり(以上一日發)

訂正● 前號欄外に掲げし東京電報中山本將軍とありしは榎本子爵の誤謬に付訂正す

雜報

●天皇陛下の御謝辭

恒久親王殿下と昌子內親王殿下の御婚儀に付韓國皇帝より恒久王殿下へ金尺大勳位を御贈進相成たる趣 天皇陛下に於て聞召され田中宮內大臣に命せられ伊藤統監に電報を以て韓國皇帝陛下へ感謝の辭を傳奏すべき樣御沙汰あらせられたる由に傳承す

●勳章贈進と謝電

竹田殿下御婚儀に際し祝意を表する爲め廿六日金尺大勳章を贈呈せらるゝ旨、皇帝陛下より韓太子に電報を發せられ該勳章は三十日の御婚儀式に佩用せらるゝ爲め二十六日夜統監府に其送致方を依賴せられたるに付竹田殿下は廿九日左の謝電を 皇帝陛下に送られたり

本日予に貴重なる最高の勳章を贈られたる旨皇太子殿下より傳達を蒙り感謝の至りに堪へず謹で御禮申上ぐ ツネヒサオウ

●道書記官會議(第四日)

一昨卅日は午前十時半開會木內次官缺席に付中原技師議長席に就き土木局主管事務に關し河川、堤防、堰渠、用惡水路、道路、橋梁及び港灣の工事及び公有水面又は道路の使用を出願したる場合事務取扱の件を指示し道路收修費及び維持修繕を地方に負擔せしむる方法及び公益事業 ため土地を收用する事其他地方土木事務に關する事項を諮問し各書記官意見を述べ正午終了午後は一時より開會松井警務局長議長席に就き衞生局主管事務に就き花柳病防遏の件、劇毒藥販賣及醫業に關する件、阿片吸用及びモルヒネ注射取締に關する件其の他衞生事務に關する事項を諮問し傳染病豫防に關する件、種痘菌無料供給に關する件、種痘委員及び種痘認許員の講習に關する件、警察醫韓人患者官費治療の件等を指示し午後五時散會せり因みに本日衞生事務に關し會議する筈なりしも一昨日を以て終了したるを以て會計事務に關し午後十時半より開き松井局長議長席に就き會議したり

●英人機會均等を主張す

統監府及內部の狼狽 日本官煙の廣告撤回

我大藏省煙草專賣局より韓國に於ける官煙の一手販賣を引受け營業に從事するところの東亞煙草會社が營業擴張の手段として韓內部よりの許可を受け南大門西大門及各要所へ日本官煙の美麗なる廣告看板を掲げあることは公衆の知るところなるが今回韓內部は右廣告看板は風致を害するものと認め突然其撤回を東亞煙草會社に命じたりと云ふ聞くところに依れば韓內部が風致に害ありと認めて撤回を命じたるは單に辭柄に過ぎずして實は過日英國總領事より煙草廣告看板掲示の件に關し某英人烟草業者の爲に機會均等を統監府に申込たる處此申込を受けたる當局者は大に狼狽し早速其事を韓政府內部に移牒したるに內部に於ても大に狼狽し種々考究の結果英總領事の申込たる機會均等を消極的に實現せしめんとし果ては美麗なる殊に夜間には電燈裝飾を爲して通行人に便利を與ふる東亞會社の官烟廣告板を根據なき風致を害する云々の理由により て撤回せしむることゝなし英領事の機會均等主張を喰留めたるなりと云ふ

●暴徒討伐情報(軍司令部着)

△慶尙北道軍威守備隊より派遣したる上等兵以下十名は廿六日青松西南約六里の地に於て約八十の賊と戰ひ其五を殪し十を傷く

△忠淸北道寶越より堤川に連絡の爲め出したる連絡兵六名は廿三日寶越に歸還の途中堤川東方約三里の地に於て約四十の賊と戰ひ之を潰亂せしむ賊の死少からず

●駐在所賊襲詳報

四月廿五日及び廿六日發群山電報に見へたる駐在所賊襲の詳報を聞くに廿三日午後十一時頃員數不明の暴徒茂長郡邑の南門と北門より侵入し南門よりせしものは巡査駐在所に向け發砲し漸次日本人巡査宿舍に接近す同所勤務巡査森元武、生田信一郎の兩氏は應戰準備を整へ北門の高地に據らんとせしに既に賊徒侵入し居るを以て宿舍前方の高地に據りしに賊徒は宿舍前に集合したるを以て兩巡査は急射擊を加へたるに數十分にして賊は南門に向つて逃走せり暴徒の數は不明なるも約百名にして携帶の銃器は僅少なりしもの〻如く駐在所其の他幸にして毫も損害を蒙らざりしと

●定山附近の交戰

天安憲兵分隊田北特務曹長以下憲兵九名は定山附近討伐の歸路廿八日夜一時維鳩の東方約一里の山中にて暴徒約二十と衝突し其四を殪し五を傷づく鹵獲品は洋銃一火繩銃一雜品數點等なり

●孤劍賊徒を擊つ

平壤憲兵分隊鳳山分遣所波瀨憲兵伍長は四月三十日午前一時銀波の南一里に於て賊徒十三を要擊す賊は死体二を殘し東方に逃走せりと

●仁川紀念祭彙報

△滊車賃割引 仁川紀念祭日たる五月十日より同十九日迄左の各驛より仁川に來る旅客に對して其來賓たると、一般旅客たるとを問はず總て各等共三割引となす筈なりと云ふ

釜山、草梁、大邱、太田、芙江、鳥致院、天安、成歡、平澤、水原、軍浦場、一山、汶山、開城、土城、岑城、汗浦、南川、新幕、平壤、新義州、西大門、富平

以上各驛より紐峴及仁川驛間

△支那人と紀念祭 紀念祭當日は在仁支那人等は尠からざる干係を有する事とて其祭典に贊同し日本人同樣大々的餘興を擧行する計畫あり且つ巨額の寄附金を當民團に申込來れりといふ

△朝鮮人の大市場 朝鮮商人は祭典に聲援をなさんが爲め十日より十九日迄朝鮮町一帶に大市場を開催すべく又小學校生徒は目下何かと催しをなさん計畫中なりと云ふ

△長崎縣人の蛇踊 在仁長崎縣人會に於ては同縣名物の蛇踊をなすべく目下大蛇の調製中なるが非常の大仕掛けのものなりと

△各府縣人會の催し 山口縣、熊本縣、廣島人會等に於ては長崎人會の蛇踊に對抗して夫れ〴〵餘興を催さん計畫なりと云ふ

△神輿渡御式 既報の如く大神宮神輿は今明日中到着の筈なれば目下其準備に忙はしく同行列には甲冑武者四十名、其他行列員二百餘名に及び頗る壯觀を呈すべしと

△紅裙の餘興 在仁百餘名の紅裙は十三日より十六日迄三日間白丁裝にて紙張大綱を曳き廻る筈なりといふ

●臨時徵稅出張

京城民團役所に於て民團稅の臨時出張徵稅を爲すことは既報の如くなるが愈々昨日より會計役林田茂七郎氏は現金取扱第五十八銀行員同行臨時出張徵稅を實行せり尙は民團役所に於ては納稅者に對し此の如く便利を圖り臨時出張徵稅をなすにも拘らず不納者ある場合には直ちに滯納處分を勵行すると云ふ

●仁川の金融

去月末の仁川金融は徐々逼迫の狀態にて金利は別段異動なきも銀行家は一般に貸し澁れるもの〻如く也同地有志者の主唱に係る五日拂實行は比較的普及され小商人を除く外は大低五日を以つて受拂期日となし居れば同地金融界は一般に五日前後に繁忙を極むるを常とせり

●馬車注文

宮內府にては行幸其他の儀式に就て乘用の馬車不足の爲め統監府より借用し來りしが今回皇室用馬車十臺を日本に注文する由なり

●官公私立運動會

韓國官公私立聯合大運動會は來る九日訓鍊院にて擧行する筈にて當日は皇帝皇后御臨場あるべしと

●實業協會の創設

韓人間の紳商及實業家は目下實業に關する協會を發起中にて本月初旬に創設するに至るべしと云ふ

●土木會社設立運動

前營繕司長たりし沈宜碩氏は京城內に土木會社を設立するに付目下熱心運動中なりと

●大韓每日の發賣禁止

例のベッセルの發行に係る本日の大韓每日申報は治安に妨害ありと認められ改正の新聞紙法に依り發賣頒布を禁止せられたり

●日韓婦人會の園遊會

同會は明三日午前九時より景福宮後丘に於て園遊會を開催する由

●教育會の總會

來四日開催すべき本邦人間の教育總會に於ては本月講習會及役員撰擧の事等を議すべし當會は多分商業會議所に於て開かるべき豫定なり

●仁川地主會集會

仁川租外地地主は過般來土地稅の過重なる爲め之れが引下げを民團に請願中なりしが之れに對し當局に於ては他の稅率と權衡上もあれば尙一應審議すべく且つ地主の要求は何れの程度迄引下を要求するものなるや不明なるに依り其回答をなすべき旨地主會に通牒したる結果來る四日右地主は宅合名會社に集合を催し協議する處あるべしと云ふ

●園藝協會の創立

井上久藏氏發起となりて創設中の園藝協會は贊成者を得て近日發會するに至るべし

●佐藤博士の歸朝

大韓醫院長佐藤博士は本日南大門發にて歸朝するべしと

●明石隊長の歸任

曩に黃海道方面の賊狀を視察して一旦歸任したる明石憲兵隊長は其の後間もなく紋山郡方面に出張したりしが用務を了へたるを以て昨日午後零時三十五分南大門着の列車にて無事歸任されたり

●池田管理局長の統監府訪問

池田通信管理局長は昨日統監府を訪問せり

●辭令(四月三十日附)

免本官專任理事廳看守長 鮎江震治郎
三級俸下賜
統監府屬兼理事廳看守長
統監府屬 猪俣武夫
八級俸下賜地方部勤務

●警部の昇級

四月三十日附を以て昇級の辭令を受けたり

六級	理事廳警部	乙政[illegible]
四級	同	壙喜明
八級	同	渡邊吉兵衛
同	同	岸田三次郎
同	同	福山長兵衛
同	同	眞柴岩藏
同	同	出野務
同	同	羽咋德應
六級	統監府警部	志田昌乂
五級	同	山下六郎
同	理事廳警部	庄司政太
同	同	橫尾勇太郎

因みに右の諸氏は日本警部たると共に韓國警部にして韓國側は韓國の官制に從ふを以て此の昇級は其の受くる俸給額とは何等の影響を及ぼさず何となれば俸給は統監府又は理事廳より支給せずして韓國政府より支給し日本側の昇級は韓國官制に關係なきを以てなり

●着仁邦人の增加

昨今漸く暖季となりたる爲めにや着仁者著しく增加し四月中には約二百名の激增を見尙ほ去仁者の屆出あるもの三十二名に過ぎざるが實際は百名以內にして尠くも百名の人口は增加せる見込なりと

●近事片々

▲鐘路● 木綿店支店等へ暴徒の脅迫狀頻々として舞込み恐懼狼狽金品を贈るものあり

▲帝都●の中央暴徒書を以て兵糧を徵發するに至ては言語同斷政府の威信何處にある

▲斯る● 暴狀果して事實ならば無政府と一般也

▲獨都●には城內に運搬する貨物を掠奪せり

▲暴徒●をして斯迄暴戾を極めしむるは韓政府は無論統監府の責任を疑はざるを得ず

▲蠶殿●の下暴徒の密偵而も多數が橫行濶步して良民居に安せずと聞く取締り肝要也

▲北韓●鏡城附近に暴徒蜂起し勢極て猖獗なりと云ふ性質草賊的に非ずして軍隊的也

▲曾根● 副統監北韓視察の道途頻に着實の經營肝要なるを說法せりと其言や甚だ宜し

▲曾根● 子爵韓國經營の眞髓を解せず特別の保護なくして祖國內地に優る利益甚尠し

▲利の● 有處期せずして人集る況や利少くして危險多き處に二の足踏む當然解せりや

▲曾根● 子韓人の共同勞働に感服日本人に優ると評す之も亦茂想の觀更に研究を要す

▲韓國● 田畑荒敗せるは政治の關係もあるが韓人の遊惰放逸は重なる原因の一と知れ

▲外觀●を一寸覗き全班を見ずして獨斷的評を下す放誤る也眞相は十年の研究を要す

▲道書● 記官會議開れ秀才帝都に集る赴任以來數ケ月韓土の眞相稍了解せる所あらむ

▲其觀● 察各異る所あらむ一堂に會して其意見を鬪す一面に於ては眼識の試驗となる

▲官位● 書記官たるも爲すことは道の長官たり觀察使を能く統御し其實を擧るが肝要

▲中央● に於ける捨名捨實の陋に傚ふ勿れ眞に統治の實權を握れ諸君の任も亦重い哉

▲書記● 官諸君任地に在て職務以外何等樂なきを諒察す然ど韓化されざる用意肝腎也

▲英國● 商務院總裁チャーチル氏ランカシヤの撰擧區に落選す統一黨の旺盛察せらる

▲保守● 黨內閣の出現は到底免る可らざらむ今一度チャンバレンの時代は僥に來る也

▲宋秉● 畯今度は眞に歸城したとの事隨分の永逗留歸來何事か策せむ際物師猾で可也

▲宋氏● の歸來は漢城政客の注視する所其一擧一動能く暗の礫にならむ兎も角面黑し

▲兵庫● 縣相場久太郎の妻姙娠八ケ月胎兒聲を發す月滿ちて生れた兒は人面犬体也と

▲姙婦● 犬を愛し常に膝の上に弄ぶ之が胎兒に感應したる也と是明治の伏姬殿と珍し

●大學青年會の韓人教育

長谷川町に在る本派本願寺出張所內に設置せし大學青年會にては韓人の爲め[illegible]嚴常照、有光發重の兩師之れが教授の任に當り月謝を要せず熱心に教授せらるゝを以て生徒も日に增加し晝夜共七十餘人の生徒ありて學力も漸次進步しつゝありと尙五月[illegible]なりと云ふ

●仁川病院幹事

仁川病院に於ては今回同院庶務總取締の爲め幹事を置く事となりたるが元仁川守備隊附なりし正六位勳四等[illegible]なり同氏は本月十日頃赴任すべしと云ふ

公私人

▲土井嘉信(十八銀行員)花屋へ

▲石[illegible]

▲[illegible](商船小富士丸事務部長)原金へ

▲時尾善三郎(工兵大佐)巴城館へ

●大學青年會の韓人教育　長谷川町に在る本派本願寺出張所内に設置せし大學青年會にては韓人の為め[illegible]最爲國、有先亮憲の兩師之れが教授の任に當り月謝を徵せず熱心に教授せ居るを以て生徒も日に増加し晝夜共七十餘人の生徒ありて學力も漸次進歩しつゝありと尚五月[illegible]なりと云ふ

●仁川病院幹事　仁川病院に於ては今回同院庶務總取締の為め幹事を置く事となりたるが元仁川守備隊附なりし正六位勳四等[illegible]なり同氏は本月十日頃赴任すべしと云ふ

公人私人

▲土井[illegible]信（十八銀行員）花屋へ　▲石[illegible]次（大阪商船小宮七丸事務部長）[illegible]へ　▲時尾善三郎（工兵大佐）巴城館へ

開城まで（七）　梅まど

この仲居は中々の上手者で口達者で早射式で語る

「ヘイ民長さんですか石橋新さんといつて藥種屋の大將で大層堅いれ人なのです何が堅いテ眞面目な方といふのです、新聞社ですか開城新報といつて月五回發行の新聞があります開城だとて馬鹿にはなりませんよ社長さんですか岡本豊喜さんといつて面白いた方です折々入らつしやつて冗談ばかり言つて笑はせになりますよへイ／＼私どもの事やら子供達のこども時々新聞に出しやはりますが餘所の新聞のやうに憎らしいことは書きやはりませぬれ人柄がよいものですもの、」新聞社の者といふものは何でも蚊でも能く知つて居るものだから話を聞く為めに一寸呼んで來ぬかといふと

『今日は此の向ふの山の手で學校の聯合運動會がありますから民長さんも岡本さんも夫れに往かなはつたでお留守でありませう……此の開城に料理屋が何軒あるかとのれ詩ですか此の間民役所のた方のた話に最近の調査によると

料理屋が十戸　金貸業が十六戸
雜貨商が十一戸　質屋が九戸
菓子製造が七戸　精米屋が六戸
醫師が五人　下宿屋が四戸
理髮店が三戸　宿屋が三戸
賣藥店が三戸　大工が三人
玉ころがしが三戸　牛肉屋が三戸
仕立屋が二戸　時計屋が二戸
陶磁器屋が二戸　餅屋が二戸
產婆が二人　飲食店が二戸
運送店が二戸　魚屋が二戸
材木屋が二戸　古物商が二戸
人力車夫　二人

のべつ節なしに饒舌からられ商物覺ゑのよいには感心した間で口を濡して讀み立るがよいと冷評せど夫れとは一向御ぞんじなく

『旦那まだあるのですよ此の外に寫眞師も、印判屋も仲買人も金銀細工所も書林も豆腐屋も洗湯も鉞力細工も塩屋も金物屋も一軒づゝありまして今日から芝居もありますから藝者さんを呼んで連れて行きになると皆が喜びますよ、ヲヽ忘れて居りました下に秀子さんが來て知らせて貰ふやうに賴んでれりました秀子さん秀子さん旦那エーおやありませんか一時間なりと招んでたやりやす」

斯る内にハーイと答ねて否應なしに一美形は座敷に舞ひ込んだ見れば十六七の顔のをも長いヒステリー的の別嬪であるチョンガーは涎を流して一心に見つめて居つたが「日本の蝎甫ですか」と問ふ馬鹿を言ふなこれは日本の妓生だと敎ゆると「日本の協律社は何所にありますか」協律社といふは京城の西大門内にあつて妓生が客引の為めに毎日手踊を為す所であるチョンガーは妓生は必らず此の協律社に出勤するものと思ふて居るがをかしい

●男裝の韓少女（上）

△大聖教會の生徒　△大書を善くす

本派本願寺大聖教會附屬の青年會學校に萬綠叢中の紅一點とも云ふべき一人の少女がある黃中玉と稱ねて今年十三未だ蕾のいたいけなる姿、中署大寺洞居住黃某の一人娘で家は素より餘裕に乏しいと見ねて權勢の榮ゆる韓國にあつては何等の勢力も無き家庭ではあるが、英雄は僻陬の地に生まる如く孝子神童は常に貧しき家に生まる、此の黃中玉も亦此の理に漏れで貧しい家に生れたが天稟の才は蔽ふ可らず、漸く物心つく頃より斯かる家庭には珍らしい讀書習字を好んで特に大字を揮毫するに至つては他の群童に擢んじて誠に珍らしく達者であつた、左れば其の父母は此の上無う寵愛して家は貧しい乍らも大事の一人娘中玉の為めに紙や墨やを購ひ與ゐ唯其の好む儘に習字を學ばせて置いたが併し韓國の事であるから完全なる學校があるでは無く去りとて別に師に就いて勉學する程の餘裕があるでも無く自分に於ては尚更ら多くを讀むの暇も無い然るに中玉は年と共に漸く慾心が起り如何しても他の男子の如く學校に通ふて勉學して見たくなり屢々兩親に向つて學校に行き度いと愛い氣なく強請つて居つた、兩親は無論大事な一人娘の好む處であるより言ふが儘に學校にも通はせたいが併し韓國の事である男子の通學する者は少なくないが女子教育は上流の家庭に於てすら普及して居らぬ國柄の事とて娘に強請らるゝ度每に尠なからず苦しき思ひをした、如何にかして娘を學校に通はせて好む儘に勉強させて見たいとは寢た隙も忘れぬ兩親の慈悲で有た

●公德を重んずべし

何れの地何れの時と雖もなべて移民地に籍を措くものは居常其の身を愼み行を儼にせざるべからざるは今更ら言ふ迄もなし是れ益し外は列國の人士に對して其の威德を示し内は母國の國光をして益々其度を加へしむるに外ならじ殊に現時の韓國にありては我邦人は常住坐臥此の心を以て念とし一擧の微一動の末と雖もれろそかにせざるべからざる筈なるに悲むべきには間々彼の下等人士の間に最も忌むべき獸ふべき蠻行の演せらるゝは異々も嘆かはしき次第といふべけれ時は是れ春風駘蕩花笑ひ鳥謠ふの交一般の人心を陽氣にする長閑氣さの花見の筵に微醉を買ひ浮れて狂ふ春の遊びは何處も同じ習なるがサテも之に伴ふ犯罪は咲いた櫻にナゼ駒繋ぐの無風流よりもイヤが上にもイヤ增してあだら花の枝をば折り取る無風流漢なるべし記者は昨今奬忠壇及南山に於て多々是等忌むべき厭ふべき蠻行を敢て為せる邦人を見受けしが中には外國人の庭園中に侵入し見事に咲き誇る花卉を折り取る不德漢あるとのことを耳にせり現に西大門外に居住する佛國人マライウオル及トレムーンの兩氏の庭園の如きは邦人の花見歸りのもの共が其の嚴重なる鐵條網を乘り越ゑ園内に侵入して思ふさま其の欲するがまゝに花の枝を折り取りそれを提げてさも名譽の如く自宅に持ち歸へるものあるとかのことにて兩邸の主人も困じ果て結局警官に之れが警戒方を依賴せしが其の筋にても特に注意を拂へ居れるも警官とてもソレが為め二六時中詰め切つて警戒するといふ譯にも行かざれば他より諭さるゝ迄もなく各々個人に於て反省し殊に外國人に對しては前記の言に鑑み公德を重んずるやう心掛けられたきものなり

●桂洞宮の金を盜む　中署於義洞五十五統十一戸張福與（二十）北署苑洞居金永夫の兩人は桂洞宮の金三千四百圓を同宮の給任ある下人金聖之なるものに保管せしめ置たるに二月一日夜盜難に罹りたるも宮家の事とて其被害を被り居るを探知して其筋は事實の有無を取調たるに果して被害の事實ありしを以て搜索するに前記張福與は身分不相應の生活を為し居るのみならず當時被害者に出入し其擧動怪しむべき廉あり訊問課に於て取調べたるに言を左右に托し其實を吐かざりしを以て被告内縁の妻に就き取調たる結果犯罪事實の端緒を得て尙は嚴重取調たる處逐に包み切れず知人金永夫と共謀二月一日金聖之方へ忍入り鞄に入れありし金三千四百圓を竊取し自分は内金千四百圓の分配を受け其金を以て家屋一棟を千百圓にて買ひ其他諸道具等買入たる旨自白せるを以て廿九日漢城裁判所へ送致せられたり

●自轉車韓兒を傷く　去る三十日の午後四時頃永樂町一丁目西山方の雇人山本彦市（二十）といへるが自轉車に跨り櫻井町の櫻湯の下道路を通行の際韓人の女兒六歲位なるが途上に遊戲し居れるに衝突し女兒には擦過傷を負はせ自分も堂と打ち倒れ其の所へ巡査が通りかゝりて其の方の住所氏名は何といふか負傷したる韓人には相當の藥料を支拂ふて謝罪せねばならぬぞなど取調やら說諭やらをする内に韓女は何者か連れ去りて藥代は免かれたるが歸り來つて主人より以後は自轉車に乘らせぬぞとの嚴命を受けこれには大に閉口し居れりと

●大袈裟な訴へ　去る三十日の午後二時頃南山公園の樹木管理人角荒次郎より只今韓人三名が山に登りて樹木を斫採り居れるにつき直ちに出張して取押へくれよと訴へに及びしより巡査が出張して見るとホボざもが松の枯枝を卸し片手ゲ斗り集め居たるまでのことなれども一應南部警察署へ連れ歸りて說諭の上放還したり

●韓人煙草を盜む　韓人のことなれば敢て珍らしきことにはあらざるが詩洞三十六統五戸崔中慶（十七）といへるは三十日の夜明治町一丁目木戸ハル方の硝子障子の隙より店所にある巻煙草を竊取し逃走する處をハルが泥棒／＼と連呼するより折しも通行せし中署中谷織物會社々員日々野菜が早くも聞きつけてこれを待ち受け直ちに逮捕して巡查派出所に連れ行きたるより尙は韓人の身体檢査を行ひしにバッチの間に白玉一瓶タバコ數箱を携帶し居りしが何れも何れかにて竊取したるものゝ如しと

●給金の悶着　去る三十日長谷川町二丁目山崎鹿之助方雇人たりし金弘鐘（五十）といふが警察署へ出頭して自分は去る十日より同家に雇はれたるが今日俄かに解雇せられ給料八十錢請求すれども支拂はざる旨を以て說諭方を願出たるにより鹿之助を呼び出して取調べて見ると賞物代十五錢を費消し又叺俵を密かに賣却したることなど發覺せしにより放逐せし由につき其の代を給料と流用し殘金を支拂ふべく說諭したりと

●朝鮮第三號　口繪、時事、評論、論說及び其の他の諸欄號を逐ふに從つて着々整齊し來り春色醋なる昨今の季節と相俟つて滿紙極めて賑かに趣味多く恰かも梅櫻桃李一時に咲き亂るゝの觀あり長風先生の漢城人物評判記例に依つて面白く筆致酣暢觀察勁拔讀者をして再讀三誦を禁ぜざらしむ其の他諸種の文章は何れも諸名士の錦心繡腸より出でたるもの一として嶄新にして奇ならざるはなし世の稱して雜誌界の覇王となすも決して溢美の言にはあらざるなり（一部金二十錢京城本町日韓書房發行）

●オンドル吟社俳句會　本日午後七時より本町座に於てオンドル吟社の俳句大會を開催すると云ふ同好の士は奮つて參會せらるべし

●仁川の出產死亡　本年一月以降昨日までの仁川死亡者は百二十一名にして出生百三十七名なりと云ふ

●小民文庫　▲本町五丁目邊を夜少し遲く通ると犬が吠て困る彼の邊の家の飼犬だらう（犬嫌生）▲旭町の某旅館の女中に客にれ付く氣障なのが居る（滯在生）▲昨夜明治町の角で僧侶と仲居らしい女と立噺して居た（通行男）▲本町三丁目の西洋小間物屋の妻君は世辭もよく女も好い（見惚男）▲天眞樓の女中で京都生れで年增の人はまだ居るかね（尋ね男）▲貴者の讀者文壇に娘子を署名して出す人は全く女ですか（閑体生）▲說明の限りに非ず（係記者）

●本町座本日の藝題　伊東文夫一座は每夜破るゝ許りの好景氣を呈し觀劇家の好評を博しつゝあり本日の藝題は一番目いろはうなにがし合作「妙の男」五幕二番目「舞踏夢」元祿花見踊一幕にして重なる役割は辯護士猪呂木環（伊東）猪呂木妻れ律、美の女神（本間）野呂澗孫助（大山）昆陽地妻れふし（桂）梅月軒娘實は春木娘た花、元祿美人（吉野）八百屋久八、書生早川（芳川）乞食の忠、後に倉田忠三（山路）三ツ橋欣彌、洋畫家藤浪紫水（小泉）昆陽地重二衛（新島）鎌田喜作（酒本）易者梅月軒、老僕德平（北秋）春木利三（平野）

廣告

開店廣告
○工務部
土地家屋森林鑛山
測量製圖設計鑛石分拆
鑛物鑑定鑛床地質調查
許可工事監督
○人事部
訴訟登記諸願屆代書
委托金錢貸借土地賣買
家屋周旋電話鑛山文案
起草辯護士紹介其他百般
今般前記ノ事務取扱開始致シ精勵敏速ヲ旨トシ御依賴ニ可應候ニ付何卒御用命ノ程偏ニ希望仕候
京城旭町二丁目（理事廳横門前）
弘成舍
電話架設中

梅毒根治新劑
新劑（藥名ドクトル）は幾多の研究實驗を重ね多年辛苦經營の結果成功したる最新最良の藥物なれば現世紀に於る唯一ノばい毒根治特効新藥なり故に黴毒及黴毒に關聯して續發する諸症（即ちはいどく。ひゑ。かさ。しつ毒。かんそう。よこね。ようばいそう。たいどく。痳毒。るいれき。骨がらみ。べんどく。ふしぶしのいたみ等）ならば如何なる頑固難症にても特別製分にて誓つて根治することを確證す從來醫療藥等百方手を盡すも全治の効なくして困難せる患者は速に本劑を試服し其病毒を根底より驅逐斷絕し天賦の生命健康を保全せよ。藥價壹劑分壹圓拾錢貳劑分壹圓九拾錢特別製ヶ參圓六拾錢着金次第送藥す郵便切手代用貳割增しの事
東京神田五軒町十九番
專賣　日新館藥房

諸願屆、登記書類の代書、土地家屋賣買、金錢貸借の周旋、漢城證明手續、土地家屋及未開墾地測量
旭町一丁目民役所横
岡田幾三郎
取次電話二六八番

○○○○○○
粹珍書案內
○眞正○極秘○
披閱忽ち愉絶快絶眞に粹士必讀の珍書案內呈すべし望の人郵券四錢送れ直に送
申込所　東京市下谷區西黑門町廿番地　東雲堂書店

（御為筋仕入品）
夏物の新着
尾州しま　一圓九十錢乃至三圓
同、上布　三圓九十錢
久留米縞　一圓半乃至二圓卅錢
同かすり　二圓五十錢乃至九圓
阿波しま　一圓乃至一圓八十錢
伊豫絣
縮緬子モスル　二圓乃至三圓三十錢
格子モスル
白更紗
新柄珍品
英子ル　二圓三十錢乃至五圓四十錢
セル　八圓…九圓八十錢
アルパカ　三圓五拾錢乃至四圓十五錢
縞モス　三圓…三圓七十錢
以上は和服用一反分の見積に候
京城本町三丁目
和洋　丸一反物店
電話六三五番
御小賣共前金の外は代金引換郵便小包郵便に由り發送のこと承知相成度候
（掛直なしのまからずや）（御館川大安物）（貸賣せずの即金取引店）

●石材販賣
堅牢美觀最も能く建築工事用の目的に適當せる石材產出地として著名なる北署水基洞より玉川洞に亘る數千坪の採石塲は今回農商工部大臣の特許を得て向ふ五ヶ年間弊店に於て採掘に從事致候間何程多數且つ長大なる切石の御注文にても迅速廉價を以て販賣仕可候也
京城旭町三丁目十一番戸
井上久藏
電話（長）二百三十一番

待合貸席
青山
京城南山町二丁目
桃や櫻の花は今を盛りと咲き亂れ柳は綠り青山の眺は得も云はれぬ折柄世の粹客樣方御散歩のつれ／＼是非に駕を枉させられたしとなん

開業御披露
柳は翠り、花は紅む、眞や世は春の彌生の盛かり、得も云はれぬ折柄、御得意樣方の御勸めに依り手輕料理を開業し御客樣方の御望のまにまに應じなん
すき燒
御手輕料理
仕出し
仁川港仲町一丁目（新月上）
やよい
帶刀ツル
電話六一七番

韓國京城
株式會社　大韓天一銀行
電話五五八番

☰
易斷觀相鑑定及教授
黃文閣
本町六丁目

梅毒癩病
內科　外科
京城南大門外
入院隨意
戸田病院

開業廣告
▲内科　▲外科　▲眼科　▲婦人科　▲小兒科　▲產科　▲花柳病
●午前宅診　午後往診
小生帝國醫科大學に多年研究中の處今般左記の處へ開業致し一般患者諸氏の診察に從事す
京城本町六丁目共立病院
院主　醫學士　山中彌太郎

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣

株式會社 第五十八銀行京城支店
（電話五八番）

爲替取組先

畿內 二十七ケ所　東海道 二十八ケ所
東山道 十三ケ所　北陸道 十ケ所
山陽道 七十五ケ所　山陰道 十三ケ所
南海道 二十三ケ所　西海道 三十ケ所
北海道 五ケ所　韓國 九ケ所
臺灣 二ケ所　清國 一ケ所

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓

京城南大門通（電話四一〇）

株式會社 十八銀行 京城支店

本店 長崎市築町
支店出張所
韓國 京城、龍山 仁川、木浦 釜山、元山 羅州、群山
日本 大阪、熊本 佐世保、嚴原 五島、壹岐

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日步壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

西洋洗濯並ニ洗張開業御披露

今回內地より熟練の職工數名伴ひ參り左記の場所に於て開業仕候間多少に不拘御用命仰付被下度只管奉願上候

當所は老人亭谷川筋に地をトし完全なる工場を設置し井戸を開鑿致候處多量に湧出水質善良加ふるに原料を精撰致技術は親切叮嚀を旨とし日限は努めて迅速に可致候尚各種の洗張物御用も承り申候

五月一日

京城大和町三丁目（統監府官舍東裏）

（加） 西洋洗濯所

所主 柄澤行眞

石拔 磨擦 精米

米國最新式磨擦機械ヲ用ヒ手撰石拔ニ最モ注意ス

迅速確實
價格低廉

特別廉價ヲ以テ多少ニ係ハラズ迅速賃搗キノ依賴ニ應ズ

京城西部東幕（麻浦度支部煉化工場右手）

順昌精米所

所主 林炳壽

⊙蠟引最新式機械應用⊙

●統監府 ●各官衙 ●購買組 御用達

京城南山町三丁目本願寺下

阪洗濯店

今般最新式機械を購入致し且つ熟練の職人數名を更に聘し極力大勉强仕候間何卒倍舊の御愛顧御用命の程伏而奉希上候　敬白

第二期決算公告

明治四十一年三月三十一日

●貸借對照表

○資產

諸貸附金	五三九、〇四〇、〇〇
拂込未濟資本金	七五〇、〇〇〇、〇〇
不動產	四七、九六八、四九
營業用地所家屋	九、六二〇、六四
什器	一、一二八、五〇
金銀有高	六九九、八一
合計	一、三四九、四五八、四四

○負債

資本金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
積立金	一〇、〇〇〇、〇〇
借入金	二六四、八七五、一八
當座借越金	三四、〇七四、七八
未拂利息	二、八九五、五六
當期純益金	三七、六一二、九二
合計	一、三四九、四五八、四四

●損益決算

一金六萬三千七百八十三圓三十一錢　總益金
一金二萬六千百七十圓三十九錢　支拂利息諸雜費
差引
一金三萬七千六百十二圓九十二錢　純益金
此分配計算左の如し
一金一萬圓　積立金
一金三千六百二十四圓六十錢　賞與金
一金二萬二千五百圓　株主配當金（年一割八分の割）
一金千四百八十八圓三十二錢　後期繰越金
右之通り候也

京城起業株式會社

取締役社長 古城菅堂
專務取締役 中村再造
取締役 和田常市
取締役 山口太兵衛
取締役 萬玉岩吉
監查役 關繁太郎
監查役 梶原末太郎
監查役 松尾福五郎

前記の各項正確なるを認證候也

監查役任期滿了に付改選の處何れも重任す

今般會員を增加し懇切叮嚀を旨として自宅病院外勤看護の依賴に應じ申すべく候

京城南山町（日本人倶樂部前）

漢城外勤看護婦會

電話九五一番

入院隨意

●內科 ●小兒科
●外科 ●婦人科
●眼科 ●花柳病

京城南山町三丁目

吉田病院

小兒科
內科
梅毒科

入院隨意

京城壽町三丁目

阪井病院

（電話二一六番）

訴訟、鑑定、契約起案、諸願屆、登記書類代書、土地家屋賣買、金錢貸借、電話賣買等の周旋

京城本町一丁目警察署前

明法學士 小川勝平事務所

電話四十一番

松丸太

松材 松薪 材木一切並ニ柳材類

弊店所有の松山より伐り出しに付大勉强可仕候間多少に不拘御用命の程奉願上候

麻浦孔德里大院君墓地

伐材出張事務所

營業科目

活版活字鑄造
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞版
諸帳簿
製本裝釘

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築落成仕從前ノ通營業致候間倍舊御愛顧之程奉願上候也

日韓印刷株式會社

本社 京城明治町三丁目 電話（三三三番）

東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

一各種石炭大販賣

大の浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
三池粉炭

ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候

鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應じ可申候

當社一手販賣炭左之通り

三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚、本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦、芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物產合名會社

京城出張所（電話二十六番）

仁川出張所（電話六十三番）

辱天覽

活動大寫眞

五月一日より向五日間仁川歌舞伎座に於て

京都橫田商會

仁川 歌舞伎座

每日午後六時より開場

染物並洗張

迅速叮嚀を旨とし染色艶麗にして確實なるは本工場の特有なり

龍山元町四丁目（元今村跡）

桑澤工場

提灯製造並張替及瓦斯燈書替へ

弊店は業務確實にして仕事叮嚀なり

京城本町理事廳前裏通

藤井提灯屋

韓國京城

株式會社 第一銀行

電話番號（營業用）一一番 國庫生 六二番
（當直用） 用度用
（營業用）三三一番 分析所用 六一二番

本店 東京市日本橋區兜町

內地支店、出張所
大阪、京都、橫濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町

韓國支店、出張所
仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、成興、城津、馬山、鏡城

清國安東縣

右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり

營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

御傘印入並提燈類

京城明治町一丁目

大島商店

一會席御料理

御一人前金一圓

吸物 猪口 爐燒
さしみ 甘煮
上酒 二本

今回上等別品の藝妓兩三名並に熟練せる料理人と仲居を雇入叮嚀懇切を旨とし大勉强仕候間賑々敷御來遊の程偏に奉希候

明治町二丁目（富士材木店橫）

敷島樓

主人敬白

原金旅館

本店 仁川理事廳通（電話三三一番）

支店 京城南山町（電話一〇七番）

弊支店に於ては管理上一切の債務を負はず入用の物品は現金にて買受候間當店の名義にて罷出候ものあるも御貸し被下間敷自然御貸し相成候共弊店に於ては其債務に任せず此段廣告候也

京城本町一丁目

熊平支店

▲懇切なる通關▼

▲迅速なる運送▼

懇切を本旨として通關を取扱ひ迅速を特色として運送に從事致候間御用命奉願上候

京城南大門外吉野町

㊁運送店

京城本町一丁目八十四番戶（電話六四二番）

日本法律學士 岩本英雄法律事務所

仁川港新町一丁目九十七番戶（電話五二七番）

●精白米御小賣●

●石拔 十七錢
一升ニ付 十六錢五厘
●白米 十六錢

一斗以上市內には出米速達
俵賣は特別御相談仕り候

京城旭町一丁目

前田精米所

月 日

各位樣

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨

京城本町五丁目

漬物問屋 大上商店

（電話二五一番）

高等理髮舘

京城相生町南門湯前

秀床

フツマ新調並ニ張替

京城旭町三丁目三ケ月旅館前

表具師 高瀨光榮堂

氷大販賣

五月一日ヨリ氷庫開扉卸シ販賣致候間多少ニ不拘御注文被下度迅速配達可仕候

並ニ夏蜜柑御販賣 但產地より直輸入

京城曙町五六（明治湯前）

森田商店

日本郵船株式會社

仁川出帆廣告

電話十番

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番

京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行
山東丸 五月十日 後三時出

●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
第一オハヨ號 五月一日 後三時出
劍路丸 月 日 後三時出

●大連、大沽、牛莊行
高砂丸 五月十四日 後一時出
山東丸 五月廿六日 前五時出

●大連、大沽、牛莊行
酒田丸 五月廿八日 後一時出

●鎭南浦行
第一オハヨー號

●釜山出帆、元山清津、浦鹽行
弘前丸 五月廿日 後三時出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船際ヲ離ル